(2723050061-0)

平成　27　年度施工							

工　事　（　　）　設　計　書

工事場所	鳥取市　河原町片山　地内	
工　事　名	河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う 片山ポンプ場場内配管布設その２工事	
工　　期	着工　平成　年　月　日	完成　平成　年　月　日

鳥取市水道局

(2723050061-0)

変 更 設 計 金 額

工　事　金　　円

元 設 計 金 額

鳥取市水道局

〈 理 由 〉

河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場場内配管布設工事

〈 概 要 〉

----------送水管布設(山手系)----------

新設流入調整弁φ100 1基(流量計ピット内)
新設流入管 NCP100A L= 0.8m(流量計ピット内)
新設ポンプ吸込管 NCP150A L=12.2m(伸縮可とう管延長含む)
新設ﾍﾞﾛｰｽﾞ形伸縮可とう管150A 1基
新設送水管 DIP.GXφ150 L=10.1m(伸縮可とう管延長含む)
新設送水管 DIP.GXφ75 L= 0.1m
新設仕切弁 GX形ソフトシール弁(両受)φ150 2基
新設仕切弁 GX形ソフトシール弁(受挿)φ150 1基
新設伸縮可とう管 DIP.GXφ150(偏芯量300㎜)U×S 1基

----------送水管布設(片山系)----------

【場内】
新設送水管 HPPEφ50 L=12.1m
新設送水管 DIP.GXφ75 L= 0.3m
新設仕切弁 HPPEｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50 2基
【場外】
新設送水管 HPPEφ50 L=264.6m
新設仕切弁 HPPEｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50 3基

----------場内整備----------

排水管VUφ150 L=12.5m
フェンス(H=1800) L=10.2m
門扉(W=1.0m,H=1800) 1基
門扉(W=5.0m,H=1800) 1基

積　算　情　報　表

(2723050061-0)　　

項　　目	内　　容	項　　目	内　　容
積算区分	実施		
変更回数	当初		
積算基準ﾊﾟﾀｰﾝ	28:平成27年度基準（消費税8%）		
設計年度	平成27年度		
単価適用地区	12 河原町		
単価適用日付	平成27年10月01日（50）		
適用率	03 構造物工事（浄水場等）		
共通仮設費補正	地方部(交通等影響あり)		
現場管理地域補正	地方部(交通等影響あり)		
契約保証費率	金銭的保証		
豪雪補正	補正有		

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	直接工事費				式	1			
	共通仮設費				式	1			
		対象外費			式	1			
			管材費		式	1			
		処分費等			式	1			
		処分費等対象額			式	1			
		処分費等（3%超過分）			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
		安全費			式	1			第7号内訳書

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		技術管理費			式	1			第8号内訳書
	純工事費				式	1			
	現場管理費				式	1			
		対象外費			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
	工事原価				式	1			
	一般管理費等				式	1			
		一般管理費			式	1			
			対象額		式	1			

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			率計算分		式	1			
		契約保証費			式	1			
	工事価格				式	1			
		消費税相当額			式	1			
	本工事費				式	1			

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	送水管布設工(山手系)			NCP,DIP.GX,150A,φ150,φ75	式	1			第1号内訳書
	送水管布設工(片山系)			HPPE,φ50	式	1			第2号内訳書
	流入管布設工(流量計ピット内)			NCP,100A	式	1			第3号内訳書
	管路土工(場内)				式	1			第4号内訳書
	場内整備工				式	1			第5号内訳書
	送水管布設工(片山系・場外)			HPPE,φ50	式	1			第6号内訳書
	合 計								

第1号の1

送水管布設工(山手系) 1式当たり内訳書

NCP,DIP.GX
150A, φ150, φ75

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
材　料	小　計	式	1				
フランジアダプター	FCD製　7.5K 150A	本	2				
片F90°曲管	NCP 150A×370L×329L	本	2				
直管付90°曲管	NCP 150A×1054L(溶接)×480L(GX挿口)	本	2				
直管付90°曲管	NCP 150A×1357L(溶接)×700L(GX挿口)	本	1				
T字管付ヘッダー管	NCP 150A×486L(溶接)×700L(GX挿口)	本	1				
90°曲管	NCP 150A×357L(溶接)×357L(溶接)	本	1				
短管	NCP 150A×314L(溶接)	本	1				
直管付90°曲管	NCP 150A×1404L(溶接)×329L(溶接)	本	1				
ベローズ型伸縮可とう管	SUS製 150A×偏芯200mm×900L(B.B)	本	1				

第1号の2

送水管布設工(山手系) 1式当たり内訳書

NCP,DIP.GX
150A, φ150, φ75

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
溶接部保護カバー	NCP 150A	ケ	8				
ＧＸ形ソフトシール弁	ＦＣＤ製　１０Ｋ φ１５０　内外面粉体塗装	ケ	2				ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ、ﾛﾝｸﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟ含む
接合セット（異形管・ソフトシール弁用）	ＧＸ形 φ１５０	ケ	4				ｺﾞﾑ輪、押輪、Ｔ頭ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ
ダクタイル鋳鉄管　甲切管	ＧＸ形　１種　内面エポキシ粉体塗装 φ１５０	本	3				接合部品含む
ダクタイル鋳鉄管　乙切管	ＧＸ形　１種　内面エポキシ粉体塗装 φ１５０	本	2				
曲管	ＧＸ形　内面粉体塗装 φ１５０×９０°	ケ	1				ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ、ﾛｯｸﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟ含む
曲管	ＧＸ形　内面粉体塗装 φ１５０×４５°	ケ	3				ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ、ﾛｯｸﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟ含む
両受曲管	ＧＸ形　内面粉体塗装 φ１５０×４５°	ケ	1				ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ、ﾛｯｸﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟ含む
二受Ｔ字管	ＧＸ形　内面粉体塗装 φ１５０×φ７５	ケ	1				ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ、ﾛｯｸﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟ含む
継輪	ＧＸ形 φ１５０	ケ	1				ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ、ﾛｯｸﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟ含む

第1号の3

送水管布設工(山手系) 1式当たり内訳書

NCP,DIP.GX
150A, φ150, φ75

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
ＧＸ形ソフトシール弁（受挿）	ＦＣＤ製　１０Ｋ φ１５０　内外面粉体塗装	ケ	1				ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ、ﾛﾝｸﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾊﾟ含む
伸縮可とう管(U×S)H=300	FCD製　ＧＸ形 φ１５０	ケ	1				タイロッド付
ライナ	ＧＸ形　粉体塗装 φ１５０	ケ	4				ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含む
接合セット（異形管・ソフトシール弁用）	ＧＸ形 φ１５０	ケ	9				ｺﾞﾑ輪、押輪、Ｔ頭ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ
Ｇ－Ｌｉｎｋセット	ＧＸ形 φ１５０	ケ	2				ｺﾞﾑ輪、Ｇ－Ｌｉｎｋ本体、Ｔ頭ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ
接合セット（異形管・ソフトシール弁用）	ＧＸ形 φ７５	ケ	1				ｺﾞﾑ輪、押輪、Ｔ頭ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ
ＧＸゴム輪	ＧＸ形　直管用 φ１５０	ケ	1				
布　設	小　計	式	1				
鋼管布設工(機械力)	溶接管　吊込み据付　溶接口数:10口以下 150mm ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付] 4t積 2.9t吊	m	10.9				
伸縮管設置	150A	基	1				第1号単価表

鳥取市水道局

第1号の4

送水管布設工(山手系) 1式当たり内訳書

NCP,DIP.GX
150A, φ150, φ75

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
ｽﾃﾝﾚｽ鋼管電気溶接	直流溶接 呼び径150mm 板厚5.0mm	箇所	8				埋設物:少ない 作業帯:良好
継手工	絶縁フランジ 呼び径150mm	ヶ所	4				７．５Ｋ
鋳鉄管布設工(機械力)	吊込み据付 呼び径150mm	m	0.4				埋設物:少ない 作業帯:良好
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	呼び径150mm 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ使用	m	0.4				
管明示テープ工（鋳鉄管）	φ１５０ 粉体塗装管用	m	0.4				
管明示ｼｰﾄ工		m	12.2				
GX形継手接合(異形管)	呼び径150mm	口	4				
鋳鉄製仕切弁設置(機械力) (縦・横型)	吊込み据付 呼び径150mm 縦型	基	2				
仕切弁ボックス設置工	ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ150　土被りH=800 φ250鉄蓋,150A,300C,ｽﾗﾌﾞ	箇所	2				第2号単価表,鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3
鋳鉄管布設工(機械力)	吊込み据付 呼び径150mm	m	8.4				埋設物:少ない 作業帯:良好

鳥取市水道局

第1号の5

送水管布設工(山手系) 1式当たり内訳書

NCP,DIP.GX
150A, φ150, φ75

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	呼び径150mm 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ使用	m	8.2				
管明示テープ工（鋳鉄管）	φ１５０ 粉体塗装管用	m	10.1				
管明示ｼｰﾄ工		m	10.1				
GX形継手接合(直管)	呼び径150mm	口	4				
GX形継手接合(異形管)	呼び径150mm	口	9				
GX形継手接合(異形管)	G-Link 呼び径150mm	口	2				
鋳鉄管切断・溝切り加工	ＧＸ形/専用工具使用 管径150mm	ケ所	5				挿し口リング取付含む
伸縮可とう管設置（鋳鉄製）	呼び径150mm以下 接合形式U×S	基	1				
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)（縦･横型）	吊込み据付 呼び径150mm 縦型	基	1				
仕切弁ボックス設置工	ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ150　土被りH=800 φ250鉄蓋,150A,300C,ｽﾗﾌﾞ	箇所	1				第2号単価表,鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3

鳥取市水道局

第1号の6

送水管布設工(山手系) 1式当たり内訳書

NCP,DIP.GX
150A, φ150, φ75

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
鋳鉄管布設工(機械力)	吊込み据付 呼び径75mm以下	m	0.1				埋設物:少ない 作業帯:良好
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	呼び径75mm以下 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ使用	m	0.1				
管明示テープ工（鋳鉄管）	φ７５ 粉体塗装管用	m	0.1				
管明示ｼｰﾄ工		m	0.1				
GX形継手接合(異形管)	呼び径75mm	口	1				
防凍工	呼び径150mm	m	7.6				第12号単価表
合　計		式	1				

第2号の1

送水管布設工(片山系) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
材　料	小　計	式	1				
水道配水用ポリエチレン管	ＨＰＰＥ φ５０×５０００	本	2				(JWWA K 144)
ベンド（スピゴット継手）	ＨＰＰＥ φ５０×９０°	ケ	3				(JWWA K 145)
チーズ（スピゴット継手）	ＨＰＰＥ φ５０×φ５０	ケ	1				(JWWA K 145)
ソフトシール弁(挿し口付)	７.５Ｋ ＨＰＰＥ用 φ５０	ケ	2				
ﾌﾗﾝｼﾞ短管	ＨＰＰＥ φ５０　SUS製フランジ	ケ	1				(JWWA K 145)10K
ＤＩＰ×ＨＰＰＥ継手	ＧＸ形挿口×ＨＰＰＥ挿口 φ７５×φ５０	ケ	1				
ＥＦソケット	ＨＰＰＥ φ５０	ケ	13				(JWWA K 145)
布　設	小　計	式	1				
鋳鉄管布設工(機械力)	吊込み据付 呼び径75mm以下	m	0.3				埋設物:少ない 作業帯:良好

第2号の2

送水管布設工(片山系) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆工	呼び径75mm以下 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ使用	m	0.3				
管明示テープ工（鋳鉄管）	φ７５ 粉体塗装管用	m	0.3				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	呼び径50mm 融着接合	m	12.1				
管明示テープ工（ポリエチレン管）	ＨＰＰＥ　φ５０	m	12.1				
管明示ｼｰﾄ工		m	12.4				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	(2口当り) 呼び径50mm 融着継手	箇所	13				
継手工	絶縁フランジ 呼び径50mm	ヶ所	1				１０Ｋ
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	呼び径50mm	口	5				
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)（縦･横型）	吊込み据付 呼び径100mm以下 縦型	基	2				
仕切弁ボックス設置工	ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50　土被りH=800 φ250鉄蓋,150A,300B,ｽﾗﾌﾞSS	箇所	2				第3号単価表,鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3

鳥取市水道局

第2号の3

送水管布設工(片山系) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
防凍工	呼び径50㎜	m	3				第13号単価表
合　計		式	1				

鳥取市水道局

第3号

流入管布設工(流量計ピット内) 1式当たり内訳書

NCP
100A

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
材　料	小　計	式	1				
流入調整弁	電動式バタフライ弁 φ１００	ケ	1				7.5k
ルーズF短管	NCP 100A×500L×7.5k	本	1				
両F短管	NCP 100A×300L×7.5k	本	1				
布　設	小　計	式	1				
鋼管布設工(機械力)	吊込み据付 100mm ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付] 4t積 2.9t吊	m	0.8				
継手工	絶縁フランジ 呼び径100mm	ヶ所	3				７．５Ｋ
機器等据付工(第2類)	芯出し調整の楽な機器 質量0.08t	台	1				第14号単価表
合　計		式	1				

第4号

管路土工(場内) 1式当たり内訳書

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
土　工	小　計	式	1				
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込	排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	13				
基礎砕石	砕石の厚さ7.5cm超12.5cm以下 RC-40	m2	1				
型枠	一般型枠 小型構造物	m2	3				
コンクリート	小型構造物 18-8-40BB 打設地上高さ2m以下	m3	0.6				
管路埋戻(機械埋戻ﾊﾞｯｸﾎｳ)	ﾀﾝﾊﾟ締固め 発生土 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	12				
管路埋戻(機械埋戻ﾊﾞｯｸﾎｳ)	ﾀﾝﾊﾟ締固め 購入土 (山土 CBR≧12) ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	0.2				
合　計		式	1				

第5号の1

場内整備工 1式当たり内訳書

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
防護柵工	小　計	式	1				
フェンス設置工	H=1800,曲忍付	m	10.2				第4号単価表
門扉設置工	W=1.0m,H=1800直忍付	箇所	1				第5号単価表
門扉設置工	W=5.0m,H=1800直忍付	箇所	1				第6号単価表
排水管布設工	小　計	式	1				
硬質塩化ビニル管設置	管径　１５０㎜	m	12.5				
ます設置工（塩化ビニル製）	ます径２００㎜	箇所	3				
コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機 削孔径　200㎜	孔	1				
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込	排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	2				
管路埋戻(機械埋戻ﾊﾞｯｸﾎｳ)	ﾀﾝﾊﾟ締固め 発生土 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	2				

第5号の2

場内整備工 1式当たり内訳書

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
発生土処理	BH山積0.28m3 ﾀﾞﾝﾌﾟ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離3.3km	m3	0.1				
建設残土処分料	曳田	ｍ３	0.1				
舗装工	小　計	式	1				
不陸整正工	施工幅1.8m以上 補足材無し	㎡	701				
路盤工	粒度調整砕石 M-30 施工幅1.8m以上 t=0.1ｍ(1層)	㎡	701				
表層(車道・路肩部)	平均厚35㎜以上45㎜未満 平均幅員1.4m以上 再生密粒度アスファルト混合物(13)	m2	701				
表層(車道・路肩部)	平均厚35㎜以上45㎜未満 平均幅員1.4m以上 再生密粒度アスファルト混合物(13)	m2	102				
合　計		式	1				

鳥取市水道局

第6号の1

送水管布設工(片山系・場外) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
材　料	小　計	式	1				
水道配水用ポリエチレン管	ＨＰＰＥ φ５０×５０００	本	53				(JWWA K 144)
ベンド（スピゴット継手）	ＨＰＰＥ φ５０×４５°	ケ	6				(JWWA K 145)
ベンド（スピゴット継手）	ＨＰＰＥ φ５０×２２° １／２	ケ	7				(JWWA K 145)
チーズ（スピゴット継手）	ＨＰＰＥ φ５０×φ５０	ケ	1				(JWWA K 145)
ソフトシール弁(挿し口付)	７.５Ｋ ＨＰＰＥ用 φ５０	ケ	3				
ＥＦソケット	ＨＰＰＥ φ５０	ケ	74				(JWWA K 145)
ＨＰＰＥ×ＶＰ用ＳＫＸソケット	インコア付 φ５０×φ５０	ケ	1				
ＨＰＰＥ×ＰＰ用ＳＫＸソケット	インコア付 φ５０×φ４０	ケ	1				
パイプエンド	(キャップ) φ４０	ケ	1				

第6号の2

送水管布設工(片山系・場外) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
保温チューブ	（ノリ付　厚10m/m) φ５０	本	1.4				Ｌ＝２．０ｍ
保護鋼管	SGP 100A	本	1				
布　設	小　計	式	1				
小車運搬(積込～運搬～取卸し)セメント等	換算距離200m以下(180m超)	t	0.1				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	呼び径50mm 融着接合	m	264.6				
管明示テープ工（ポリエチレン管)	ＨＰＰＥ　φ５０	m	264.6				
管明示ｼｰﾄ工		m	260.6				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	(2口当り) 呼び径50mm 融着継手	箇所	74				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	呼び径50mm	口	11				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	呼び径40mm	口	2				

鳥取市水道局

第6号の3

送水管布設工(片山系・場外) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
継手工	ＳＫ（ＰＰ） 呼び径40mm　ストップリングあり	口	1				
継手工	ＳＫ（ＶＰ） 呼び径50mm　ストップリングあり	口	1				
継手工	ＳＫ（ＨＰＰＥ） 呼び径50mm　ストップリングあり	口	2				
管末工	φ５０（ＨＰＰＥ）	ヶ所	1				第7号単価表
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	呼び径40mm	口	1				
鋳鉄製仕切弁設置(機械力) (縦･横型)	吊込み据付 呼び径100mm以下 縦型	基	3				
仕切弁ボックス設置工	ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50　土被りH=600 φ250鉄蓋,150A,100B,ｽﾗﾌﾞSS	箇所	1				第8号単価表,鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3
仕切弁ボックス設置工	ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50　土被りH=700 φ250鉄蓋,150A,200B,ｽﾗﾌﾞSS	箇所	2				第9号単価表,鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3
仕切弁ボックス設置工	管末　吐水口 φ200鉄蓋,150A,ｽﾗﾌﾞ	箇所	1				第10号単価表,鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3
小口径管切断	鋼管 呼び径100mm	箇所	1				

第6号の4

送水管布設工(片山系・場外) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機 削孔径　125mm	孔	2				
小口径管布設(人力)据付工	鋼管 呼び径100mm	m	2.8				
モルタル充鎮	無収縮モルタル	m3	0.002				
土　工	小　計	式	1				
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	180				
舗装版切断	コンクリート舗装版	m	390				
ﾊﾞｯｸﾎｳによる舗装版直接掘削･積込	舗装厚0cm超え10cm以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	㎡	211				
舗装版破砕	コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	m2	150				
構造物とりこわし工	無筋構造物 人力施工	m3	8				
小車運搬(積込～運搬～取卸し)土・石	栗石・クラッシャラン 換算距離200m以下(180m超)	m3	8				

鳥取市水道局

第6号の5

送水管布設工(片山系・場外) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
構造物とりこわし工	無筋構造物 人力施工	m3	3				
小車運搬(積込～運搬～取卸し)土・石	栗石・クラッシャラン 換算距離60m以下(40m超)	m3	3				
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込	排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	44				
床掘り	土砂 現場制約あり	m3	29				
小車運搬(積込～運搬～取卸し)土・石	土砂 換算距離200m以下(180m超)	m3	29				
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処理	BH山積0.28m3 ﾀﾞﾝﾌﾟ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離6.8km	m3	8				
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊(無筋)処理	BH山積0.28m3 ﾀﾞﾝﾌﾟ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離6.8km	m3	26				
発生土処理	BH山積0.28m3 ﾀﾞﾝﾌﾟ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離3.2km	m3	73				
再資源化施設受入費	アスファルト塊(切削,掘削) 八頭町郡家	t	19				
再資源化施設受入費	コンクリート塊(無筋) 八頭町郡家	t	61				

第6号の6

送水管布設工(片山系・場外) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
建設残土処分料	曳田	ｍ３	73				
管路埋戻(機械埋戻ﾊﾞｯｸﾎｳ)	ﾀﾝﾊﾟ締固め 購入土 (山土 CBR≧12) ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対1次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	29				
小車運搬(積込～運搬～取卸し)土・石	土砂 換算距離200m以下(180m超)	m3	18				
人力埋戻し＋タンパ締固め	購入土（山土　ＣＢＲ≧１２）	ｍ３	18				
路盤工	粒度調整砕石 M-40 施工幅1.8m未満 t=0.17ｍ(2層)	㎡	27				
路盤工	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 施工幅1.8m未満 t=0.15ｍ(1層)	㎡	27				
路盤工	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-30 施工幅1.8m未満 t=0.17ｍ(2層)	㎡	98				
小車運搬(積込～運搬～取卸し)土・石	栗石・クラッシャラン 換算距離200m以下(180m超)	m3	17				
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(人力)	車道･路肩部 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) 舗装厚30mm 瀝青材散布なし	㎡	124				
不陸整正工	施工幅1.8m未満 補足材無し	㎡	108				

鳥取市水道局

第6号の7

送水管布設工(片山系・場外) 1式当たり内訳書

HPPE
φ50

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
不陸整正工	施工幅1.8m以上 補足材無し	㎡	207				
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(人力)	車道･路肩部 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚50mm ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	㎡	30				
表層(車道・路肩部)	平均厚45mm以上55mm未満 平均幅員1.4m以上 再生密粒度アスファルト混合物(20)	m2	56				
コンクリート舗装	人力舗設 舗装厚20cm未満	m2	228				第11号単価表
小車運搬(積込～運搬～取卸し)セメント等	換算距離200m以下(180m超)	t	54				
区画線工（溶融式・手動）	実　線・ゼブラ・１５cm ５０ｍ未満	m	15				
階段工	1:3.0勾配 W=1.5m	m	13.6				
合　計		式	1				

第7号

安全費 1式当たり内訳書

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
交通整理員(交通誘導員Ｂ)	昼間勤務 交替要員あり	人・日	48				
合　計		式	1				

鳥取市水道局

第8号

技術管理費 1式当たり内訳書

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
X線検査	呼び径1,000㎜未満 その他	枚	8				
合　計		式	1				

第1号

伸縮管設置 1基当たり単価表

150A

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
橋梁世話役		人				9	
橋梁特殊工		人				9	
普通作業員		人				9	
ﾄﾗｯｸ運転	ｸﾚｰﾝ装置付 4t積 2.9t吊	時間					
諸雑費		%					
合　計		基	1				

鳥取市水道局

第2号

仕切弁ボックス設置工 1箇所当たり単価表

ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ150　土被りH=800
φ250鉄蓋,150A,300C,ｽﾗﾌﾞ
鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	雑	摘　要
普通作業員		人					
仕切弁･消火栓ボックス基礎砕石工	ﾀﾝﾊﾟ締固め　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対１次　山積0.28m3	m2	0.28				
仕切弁用鉄蓋	鳥取市承認型 円形１号（φ２５０）	ケ	1				適用荷重Ｔ２５
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×１５０ Ａ）	ケ	1				
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×３００　Ｃ）	ケ	1				
仕切弁用下板スラブ	コンクリート製（市承認型） 厚さ６㎝	ケ	1				円形１号（φ２５０）
合　計		箇所	1				

第3号

仕切弁ボックス設置工 1箇所当たり単価表

ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50　土被りH=800
φ250鉄蓋,150A,300B,ｽﾗﾌﾞSS
鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	雑	摘　要
普通作業員		人					
仕切弁･消火栓ボックス基礎砕石工	ﾀﾝﾊﾟ締固め　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対１次　山積0.28m3	m2	0.2				
仕切弁用鉄蓋	鳥取市承認型 円形１号（φ２５０）	ケ	1				適用荷重Ｔ２５
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×１５０ Ａ）	ケ	1				
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×３００ Ｂ）	ケ	1				
仕切弁用下板スラブ	コンクリート製（市承認型） 厚さ６ｃｍ　ＳＳ型	組	1				円形１号（φ２５０）
合　計		箇所	1				

鳥取市水道局

第4号

フェンス設置工 1m当たり単価表

H=1800,曲忍付

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
基礎ブロック(立入防止柵)	設置 フェンス用ブロック 25×25×45(cm)	個	5				
金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	設置	m	10				
フェンス	H=1800,曲忍付	m	10				
フェンス用基礎ブロック	250×250×450mm	個	5				
基礎砕石	砕石の厚さ7.5cm超12.5cm以下 RC-40	m2	0.5				
積込(ルーズ)	土砂 1箇所100m3以下(標準)	m3	0.1				
発生土処理	BH山積0.28m3　ﾀﾞﾝﾌﾟ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離3.3km	m3	0.1				
建設残土処分料	曳田	m３	0.1				
合　計		m	10				
単位当り		m	1				

第5号

門扉設置工 1箇所当たり単価表

W=1.0m,H=1800直忍付

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	設置	m	1				
門扉	W=1.0m,H=1800,直忍付	ケ	1				
基礎砕石	砕石の厚さ7.5cm超12.5cm以下 RC-40	m2	0.4				
型枠	一般型枠 小型構造物	m2	2				
コンクリート	小型構造物 18-8-40BB 打設地上高さ2m以下	m3	0.2				
積込(ルーズ)	土砂 1箇所100m3以下(標準)	m3	0.1				
発生土処理	BH山積0.28m3　ﾀﾞﾝﾌﾟ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離3.3km	m3	0.1				
建設残土処分料	曳田	ｍ３	0.1				
合　計		箇所	1				

第6号

門扉設置工 1箇所当たり単価表

W=5.0m,H=1800直忍付

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	設置	m	5				
門扉	W=5.0m,H=1800,直忍付	ケ	1				
基礎砕石	砕石の厚さ7.5cm超12.5cm以下 RC-40	m2	1				
型枠	一般型枠 小型構造物	m2	4				
コンクリート	小型構造物 18-8-40BB 打設地上高さ2m以下	m3	0.7				
積込(ルーズ)	土砂 1箇所100m3以下(標準)	m3	0.5				
発生土処理	BH山積0.28m3　ﾀﾞﾝﾌﾟ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離3.3km	m3	0.5				
建設残土処分料	曳田	ｍ３	0.5				
合　計		箇所	1				

第7号

管末工 1ヶ所当たり単価表

φ５０（ＨＰＰＥ）

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
硬質塩化ビニル管	ＨＩ φ５０	m	0.9				(JIS K 6742)
エルボ	ＨＩ φ５０	ケ	1				
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管据付工	呼び径50mm	m	0.9				
TS継手工	1口当たり 呼び径50mm	口	2				
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管切断工	呼び径50mm	口	2				
合　計		ヶ所	1				

第8号

仕切弁ボックス設置工 1箇所当たり単価表

ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50　土被りH=600
φ250鉄蓋,150A,100B,ｽﾗﾌﾞSS
鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
普通作業員		人					
仕切弁･消火栓ボックス基礎砕石工	ﾀﾝﾊﾟ締固め　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対１次　山積0.28m3	m2	0.2				
仕切弁用鉄蓋	鳥取市承認型 円形１号（φ２５０）	ケ	1				適用荷重Ｔ２５
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×１５０ Ａ）	ケ	1				
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×１００ Ｂ）	ケ	1				
仕切弁用下板スラブ	コンクリート製（市承認型） 厚さ６ｃｍ　ＳＳ型	組	1				円形１号（φ２５０）
合　計		箇所	1				

鳥取市水道局

第9号

仕切弁ボックス設置工 1箇所当たり単価表

ｿﾌﾄｼｰﾙ弁φ50　土被りH=700
φ250鉄蓋,150A,200B,ｽﾗﾌﾞSS
鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次　山積0.28m3

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
普通作業員		人					
仕切弁･消火栓ボックス基礎砕石工	ﾀﾝﾊﾟ締固め　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対１次　山積0.28m3	m2	0.2				
仕切弁用鉄蓋	鳥取市承認型 円形１号（φ２５０）	ケ	1				適用荷重Ｔ２５
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×１５０ Ａ）	ケ	1				
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２５０×２００ Ｂ）	ケ	1				
仕切弁用下板スラブ	コンクリート製（市承認型） 厚さ６ｃｍ　ＳＳ型	組	1				円形１号（φ２５０）
合　計		箇所	1				

第10号

仕切弁ボックス設置工 1箇所当たり単価表

管末　吐水口
φ200鉄蓋,150A,ｽﾗﾌﾞ
鉄蓋,ﾎﾞｯｸｽ材料含む 基礎砕石ﾊﾞｯｸﾎｳ規格排対1次 山積0.28m3

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	雑	摘　要
普通作業員		人					
仕切弁･消火栓ボックス基礎砕石工	ﾀﾝﾊﾟ締固め　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 ﾊﾞｯｸﾎｳ 排対１次　山積0.28m3	m2	0.13				
仕切弁用鉄蓋	鳥取市承認型 円形１号（φ２００）	ケ	1				適用荷重Ｔ２５
仕切弁用下箱	レジコン製（市承認型） 円形１号（φ２００×１５０ Ａ）	ケ	1				
仕切弁用下板スラブ	コンクリート製（市承認型） 厚さ６㎝	ケ	1				円形１号（φ２００）
合　計		箇所	1				

第11号

コンクリート舗装 1m2当たり単価表

人力舗設
舗装厚20cm未満

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
土木一般世話役		人				69	
特殊作業員		人				69	
普通作業員		人				69	
生コンクリート	１８－８－４０　高炉	m3	10.4			6	
諸雑費		%				6	
目地材料費		%					
合　計		m2	100				
単位当り		m2	1				

鳥取市水道局

第12号

防凍工 1m当たり単価表

呼び径150mm

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒	t=20mm φ150	m	1.03			9	
粘着ﾃｰﾌﾟ	t=0.2mm	m	1.9			9	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	t=0.05mm 幅150	m	10.3			9	
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	(SUS304) t=0.3mm	m2	0.91			9	
諸雑費		%					
保温工		人					
板金工		人					
合　計		m	1				

第13号

防凍工 1m当たり単価表

呼び径50mm

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	雑	摘　要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒	t=20mm φ50	m	1.03			9	
粘着ﾃｰﾌﾟ	t=0.2mm	m	1			9	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	t=0.05mm 幅100	m	7.9			9	
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	(SUS304) t=0.3mm	m2	0.49			9	
諸雑費		%					
保温工		人					
板金工		人					
合　計		m	1				

鳥取市水道局

第14号

機器等据付工(第2類) 1台当たり単価表

芯出し調整の楽な機器
質量0.08t

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
機械設備据付工		人					
普通作業員		人					
合　計		台	1				

鳥取市水道局

設計数量計算書

河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場場内配管布設その2工事

ポンプ吸込管布設工、送水管布設工(場内)

1 管路掘削(機械)

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^3)	備 考
	7.30	0.50m× 0.83m	3.03	断面①H=0.66m,L=7.3m ポンプ吸込管150A
	6.50	0.92m× 0.83m	4.96	断面②H=0.66m,L=6.5m 送水管2条φ150,φ50
	2.40	0.50m× 0.83m	1.00	断面③H=0.66m,L=2.4m φ150
	1.90	0.90m× 1.20m	2.05	断面④H=0.66m,L=1.9m φ150 防Co
	5.60	0.50m× 0.78m	2.18	断面⑤H=0.71m,L=5.6m φ50
		合計	**13.22**	(13)

2 基礎砕石工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m2)	備 考
RC-40 t=100	1.90	0.60m	1.14	防護コンクリート基礎
		合計	**1.14**	(1)

3 型枠工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^2)	備 考
		0.7m×1.9m×2+(0.7m×0.5m-0.02㎡)×2	3.32	
		合計	**3.32**	(3)

4 防護コンクリート工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m3)	備 考
18-8-40 高炉	1.90	(0.50m× 0.70m) -0.02㎡	0.63	
		合計	**0.63**	(0.6)

5 管路埋戻

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^3)	備 考
在来土	7.30	(0.50m× 0.83m) -0.02㎡	2.88	断面①H=0.66m,L=7.3m ポンプ吸込管150A
	6.50	(0.92m× 0.83m) -0.02㎡	4.83	断面②H=0.66m,L=6.5m 送水管2条φ150,φ50
	2.40	(0.50m× 0.83m) -0.02㎡	0.95	断面③H=0.66m,L=2.4m φ150
	1.90	(0.90m× 1.20m) -0.02㎡	2.01	断面④H=0.66m,L=1.9m φ150 防Co
	5.60	(0.50m× 0.78m)	2.18	断面⑤H=0.71m,L=5.6m φ50
		合計	**12.85**	(13)
防Co			▲0.63	
防Co 基礎砕石	1.90	0.60m× 0.10m	▲0.11	
		防Co等体積控除後 計	**12.11**	(12)在来土
		掘削量 埋戻量 換算係数 13.22m3- 12.11m3 ÷0.9 土量不足分	**▲ 0.24**	(0.2)購入土

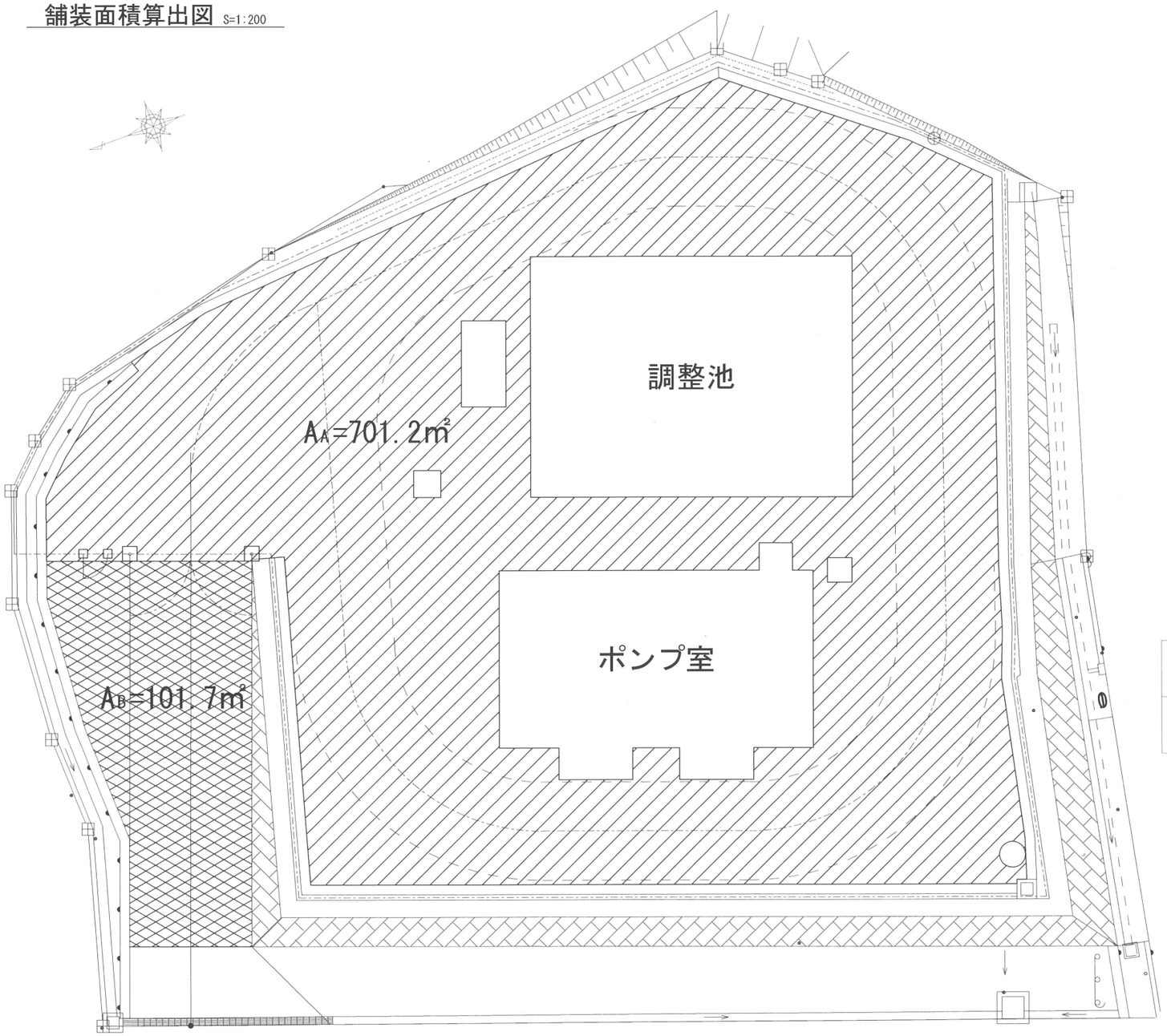
第　　表

場内整備工		排水管集計　　計　算　書			
種　別	規　格	算　　式		単位	数　量
硬質塩ビ管	VU φ150	l=8.63+2.97+0.88=	12.48	m	12.5
接合桝	45L 150-200	n=1	1.0	個	1
	90YS 150-200	n=1	1.0	個	1
	90L 150-200	n=1	1.0	個	1
立上り管	VU φ200	L=0.16+0.20+0.28=	0.64	m	0.6
塩ビ製蓋	φ200	n=3	3.0	個	3
偏心ブッシング	φ150-100	n=2	2.0	個	2
偏心ソケット	φ100-65(両受)	n=1	1.0	個	1
	φ100-50(両受)	n=1	1.0	個	1
削孔工	φ200	L=200mm	1.0	箇所	1
土工					
管路掘削	φ150	断面⑥　0.50×0.27×9.4＝	1.27	m^3	
	φ150	断面⑦　0.50×0.39×4.1＝	0.80	m^3	
		計	2.07	m^3	2
埋戻	φ150	断面⑥　(0.50×0.27-0.02)×9.4＝	1.08	m^3	
	φ150	断面⑦　(0.50×0.39-0.02)×4.1＝	0.72	m^3	
		計	1.80	m^3	2
残土処分	発生土	2.07-1.80÷0.9＝	0.07	m^3	0.1

第　　表

場内整備工		舗装工集計　　計　算　書			
種　別	規　格	算　　式		単位	数　量
場内舗装					
不陸整正工	補足材なし	舗装面積算出図より A=701.2	701.2	m^2	701
路盤(M-30)	t＝10cm	舗装面積算出図より A=701.2	701.2	m^2	701
再生密粒度As(13)	t＝4cm	舗装面積算出図より A=701.2	701.2	m^2	701
進入路舗装					
再生密粒度As(13)	t＝4cm	舗装面積算出図より A=101.7	101.7	m^2	102

舗装面積算出図 S=1:200



	不陸整正工・路盤工(RC-40, t=100)・舗装工(再生密粒度As(13), t=40) AA=701.2㎡
	舗装工(再生密粒度As(13), t=40) AB=101.7㎡

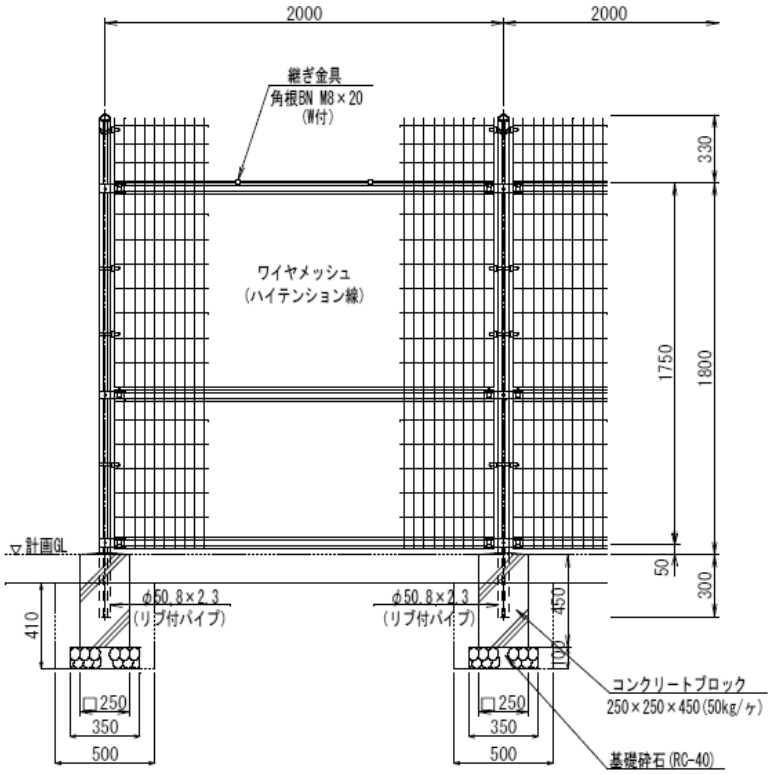
第　　表

場内整備工	防護柵工集計	計　算　書		
種　別	規　格	算　　式	単位	数　量
フェンス	H=1.80m	L=10.2	m	10.2
		基礎n=10.2/2.0=	ヶ所	6.0
門扉	W=1.0m	n=1	ヶ所	1.0
門扉	W=5.0m	n=1	ヶ所	1.0

場内整備工

忍返し付フェンス　H=1.8m

10m当り

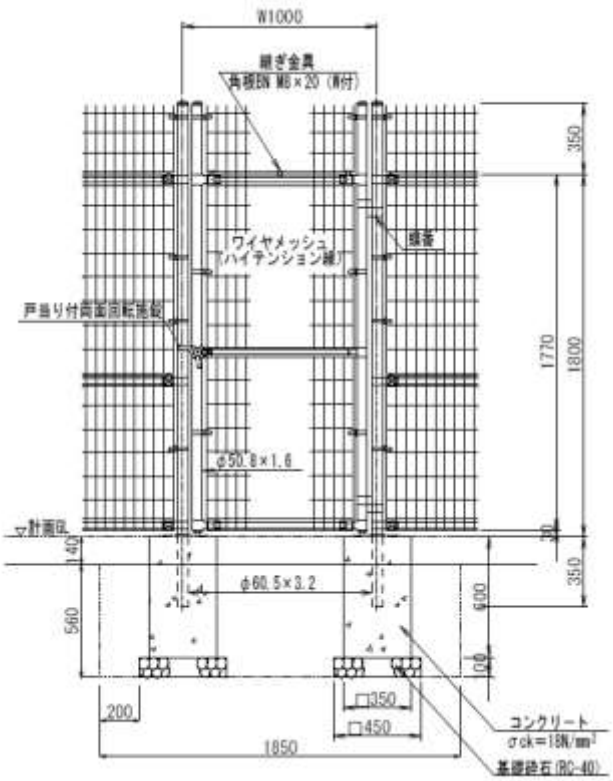


種　別	規　格	算　式		単位	数　量
フェンス	H=1.80m	支柱間隔2.0m		m	10.0
床堀		0.5×0.5×0.41×5＝	0.51	m^3	0.5
基礎砕石	RC-40　t=100	0.35×0.30×5＝	0.525	㎡	0.5
コンクリートブロック	250×250×450	10.0/2.0＝	5	個	5
埋戻		{0.5×0.5×0.41－(0.25×0.25×0.31＋0.35×0.30×0.1)}×5＝	0.36	m^3	0.4
残土処分		0.51－0.36÷0.9＝	0.11	m^3	0.1

場内整備工

片開き門扉W=1.0m

1ヶ所当り

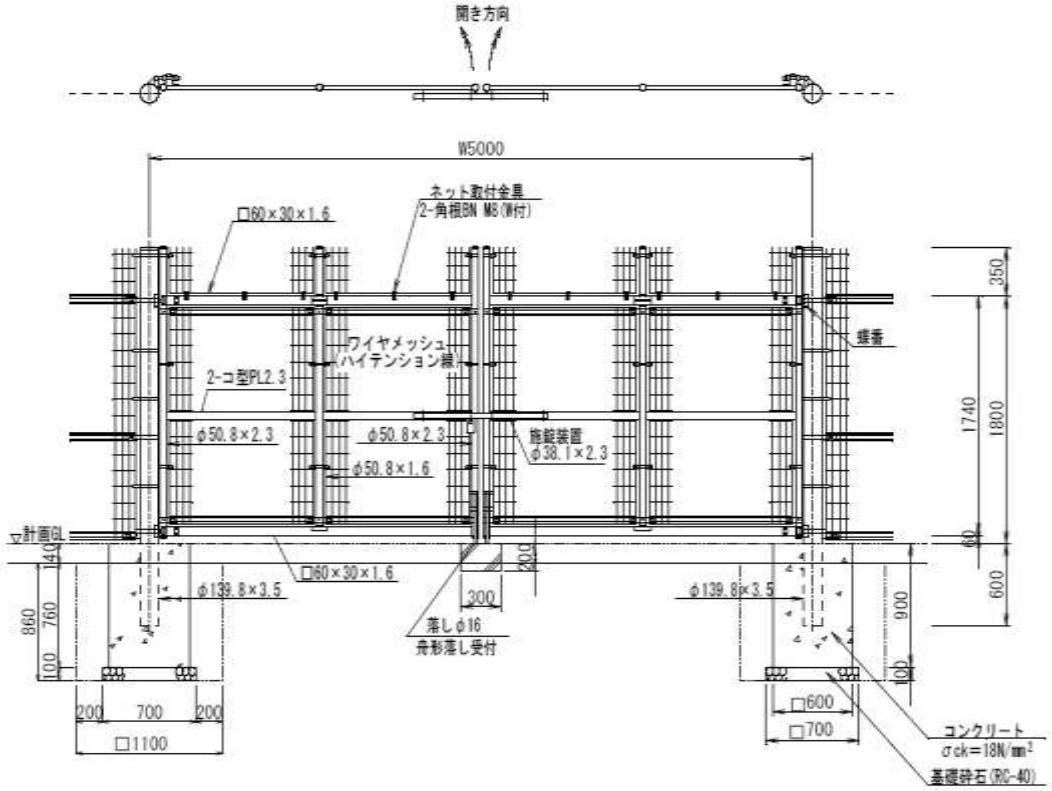


種　別	規　格	算　式		単位	数　量
片開き門扉(直忍付)	H=1.80m　W=1.0m			式	1.0
床堀		1.85×0.85×0.56＝	0.88	m^3	0.9
基礎砕石	t=100 RC-40	0.45×0.45×2＝	0.405	m^2	0.4
基礎コン型枠		0.35×0.60×4×2＝	1.68	m^2	2
基礎コンクリート	σck＝18N/mm^2	0.35×0.35×0.60×2＝	0.15	m^3	0.2
埋戻		1.85×0.85×0.56－(0.35×0.35×0.46＋0.45×0.45×0.1)×2＝	0.73	m^3	0.7
残土処分		0.88－0.73÷0.9＝	0.07	m^3	0.1

場内整備工

両開き門扉 W=5.0m

1ヶ所当り



種　別	規　格	算　式		単位	数　量
両開き門扉(直忍付)	H=1.80m　W=5.0m			式	1.0
床堀		1.10×1.10×0.86×2+0.30×0.30×0.06=	2.09	m^3	2
基礎砕石	t=100 RC-40	0.70×0.70×2=	0.98	m^2	1
基礎コン型枠		0.60×0.90×4×2=	4.32	m^2	4
基礎コンクリート	σck=18N/mm^2	0.60×0.60×0.90×2=	0.65	m^3	0.7
基礎ブロック	300×300×200	n=1		個	1
埋戻		(1.10×1.10×0.86×2+0.30×0.30×0.06)			
		−(0.60×0.60×0.76+0.70×0.70×0.10)×2=	1.44	m^3	1
残土処分		2.09−1.44÷0.9=	0.49	m^3	0.5

設計数量計算書

河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場場内配管布設その2工事

送水管布設工(場外)

1　舗装版切断工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m)	備　考
As t=50	21.60	4本	86.40	A-A' L=21.1m
	29.10	3本	87.30	D-D' L=29.1m
	1.05	2本	2.10	配水池前分岐
	1.40	3本	4.20	排水設備 L=0.9m
		合計	**180.00**	(180)
Co t=100	75.20	2本	150.40	B-B' L=75.2m
	119.80	2本	239.60	C-C' L=119.8m
		合計	**390.00**	(390)

2　舗装版取り壊し積み込み工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^2)	備　考
As t=50	21.60	1.10m	23.76	A-A' L=21.1m
	29.10	1.85m	53.84	D-D' L=29.1m
	1.40	1.85m	2.59	排水設備 L=0.9m
		小計	**80.19**	
As t=30	245.70	0.50m	122.85	L=245.2m
	1.40	0.50m	0.70	L=0.9m 排水設備
	1.05	0.50m	0.53	配水池前分岐
			6.60	電気計装設備工事掘削箇所
		小計	**130.68**	
		合計	**210.87**	(211) 0cm越え10cm以下
Co t=100	75.20	2.00m	150.40	B-B' L=75.2m
		合計	**150.40**	(150)機械
Co t=100	119.80	0.65m	77.87	C-C' L=119.8m
		合計	**77.87**	(78)人力

3　人力運搬工(Co舗装版)

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m3)	備　考
小車		77.87m2×　0.10m	7.79	
		合計	**7.79**	(8)

4　構造物とりこわし工＋人力運搬工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^3)	備　考
Co	13.60	1.50m×　0.15m (平均厚)	3.06	既設階段 L=13.6m
		合計	**3.06**	(3)

5　管路掘削(機械)

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^3)	備　考
	21.60	0.50m×　0.72m	7.78	A-A' H=0.70m,L=21.1m
	75.20	0.50m×　0.57m	21.43	B-B' H=0.60m,L=75.2m
	29.10	0.50m×　0.72m	10.48	D-D' H=0.70m,L=29.1m
	1.80	0.50m×　0.72m	0.65	配水池前分岐 H=0.70m,L=1.8m
	1.40	0.50m×　0.72m	0.50	排水設備 H=0.70m,L=0.9m
		小計	**40.84**	
すき取り	21.60	0.50m×　0.02m	0.22	A-A' L=21.1m
	75.20	0.50m×　0.07m	2.63	B-B' L=75.2m
	29.10	0.50m×　0.02m	0.29	D-D' L=29.1m
	1.80	0.50m×　0.02m	0.02	配水池前分岐 L=1.8m
	1.40	0.50m×　0.02m	0.01	排水設備 L=0.9m
		小計	**3.17**	
		計	**44.01**	(44)

6 管路掘削(人力)＋人力運搬工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^3)	備 考
	119.80	0.50m× 0.37m	22.16	C-C' H=0.40m,L=119.8m
	13.60	0.50m× 0.32m	2.18	階段 H=0.40m,L=13.6m
		小計	**24.34**	
すき取り	119.80	0.50m× 0.07m	4.19	C-C' L=119.8m
		小計	**4.19**	
		計	**28.53**	(29)

7 発生土処理(As,Co;郡家6.8km;DIDなし,土砂;曳田3.2km;DIDなし)

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^3)	備 考
As		80.19㎡× 0.05m	4.01	
		130.68㎡× 0.03m	3.92	仮舗装
		合計	**7.93**	(8)
Co		150.40㎡× 0.10m	15.04	
		77.87㎡× 0.10m	7.79	
			3.06	既設階段
		合計	**25.89**	(26)
土砂			44.01	機械
			28.53	人力
		合計	**72.54**	(73)

8 再資源化施設受入費(郡家)

規格	延長(m)	単位数量	数量 (t)	備 考
As		7.93m3× 2.35t/m3	18.64	
		合計	**18.64**	(19)
Co		25.89m3× 2.35t/m3	60.84	
		合計	**60.84**	(61)

9 管路埋戻

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^3)	備 考
機械 真砂土	21.60	0.50m× 0.42m	4.54	A-A' H=0.70m,L=21.1m
	75.20	0.50m× 0.47m	17.67	B-B' H=0.60m,L=75.2m
	29.10	0.50m× 0.42m	6.11	D-D' H=0.70m,L=29.1m
	1.80	0.50m× 0.42m	0.38	配水池前分岐 H=0.70m,L=1.8m
	1.40	0.50m× 0.42m	0.29	排水設備 H=0.70m,L=0.9m
		合計	**28.99**	(29)
人力 真砂土	119.80	0.50m× 0.27m	16.17	C-C' H=0.40m,L=119.8m
	13.60	0.50m× 0.27m	1.84	階段 H=0.40m,L=13.6m
		合計	**18.01**	(18) +人力運搬工

10 路盤工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^2)	備 考
M-40 t=170	21.60	0.50m	10.80	A-A' L=21.1m
	29.10	0.50m	14.55	D-D' L=29.1m
	1.80	0.50m	0.90	配水池前分岐 L=1.8m
	1.40	0.50m	0.70	排水設備 L=0.9m
		合計	**26.95**	(27)
RC-40 t=150	21.60	0.50m	10.80	A-A' L=21.1m
	29.10	0.50m	14.55	D-D' L=29.1m
	1.80	0.50m	0.90	配水池前分岐 L=1.8m
	1.40	0.50m	0.70	排水設備 L=0.9m
		合計	**26.95**	(27)
C-30 t=170	75.20	0.50m	37.60	B-B' L=75.2m
	119.80	0.50m	59.90	C-C' L=119.8m
		合計	**97.50**	(98)

11 人力運搬工(C-30)

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m3)	備 考
小車		97.50m2× 0.17m	16.58	
		合計	**16.58**	(17)

12 仮舗装工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^2)	備 考
t=30	245.70	0.50m	122.85	L=245.2m
	1.05	0.50m	0.53	配水池前分岐
	1.40	0.50m	0.70	L=0.9m 排水設備
		合計	**124.08**	(124)

13 不陸整正工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^2)	備 考
補足材なし W1.8未満	21.60	1.10m	23.76	A-A' L=21.1m
			6.60	電気計装設備工事掘削箇所
	119.80	0.65m	77.87	C-C' L=119.8m
			108.23	(108)
補足材なし W1.8以上	29.10	1.85m	53.84	D-D' L=29.1m
	1.40	1.85m	2.59	排水設備 L=0.9m
	75.20	2.00m	150.40	B-B' L=75.2m
		合計	**206.83**	(207)

14 舗装工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m^2)	備 考
As t=50 再生密粒 (20)	21.60	1.10m	23.76	A-A' L=21.1m
			6.60	電気計装設備工事掘削箇所
		合計	**30.36**	(30)人力
	29.10	1.85m	53.84	D-D' L=29.1m
	1.40	1.85m	2.59	排水設備 L=0.9m
		合計	**56.43**	(56)機械
Co t=100 (18-8-40 高炉)	75.20	2.00m	150.40	B-B' L=75.2m
	119.80	0.65m	77.87	C-C' L=119.8m
		合計	**228.27**	(228)人力

15 人力運搬工(Co)

規格	延長(m)	単位数量	数量 (t)	備 考
小車		228.27m2× 0.10m× 2.35t/m3	53.64	
		合計	**53.64**	(54)

16 区画線工

規格	延長(m)	単位数量	数量 (m)	備 考
	15.00	1本	15.00	L=15.0m
		合計	**15.00**	(15)

河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う
片山ポンプ場場内配管布設その２工事

特 記 仕 様 書

鳥　取　市　水　道　局

目　　次

第１章　総　　則 ---------- 1

第２章　電動弁仕様 ---------- 7

第３章　施　　工 ---------- 8

第１章　　総　　則

第１節　一般事項

第１条　概　　要

本特記仕様書は､｢河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場場内配管布設その２工事｣（以下本工事と言う）について適用するものであり、法令その他特別に定めるもののほか､本仕様書に準拠し水道局監督員(以下監督員と言う)の指示により施工にあたらなければならない。

また､特記仕様書に定めていない事項については､｢鳥取市水道工事標準仕様書｣､｢土木工事施工管理ハンドブック（鳥取県県土整備部)｣､国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」によるものとする。

第２条　法令等の遵守

本工事の施工に当たり受注者は、当該工事に関する法令、条例、規則などを遵守すること。また、関係法令の運用適用は受注者の負担と責任において行うこと。

第３条　届出及び手続き

本工事において関係諸官庁、中国電力及びＮＴＴ等への手続きを必要とする場合は､受注者がこれに要する申請書､届出書等を作成し､手続きの一切を代行するものとする。

なお、これらに要する費用はすべて受注者の負担とする。

第４条　現場代理人及び主任技術者

１）受注者は、必要に応じ現場代理人および工事現場における施工上の技術管理をつかさどる主任技術者を選任し、契約締結後速やかに定められた書面により届出なければならない。

ただし、現場代理人と主任技術者とは、これを兼ねることができる。

２）受注者または現場代理人は、工事現場に常駐し、工事に関する一切の事項を処理しなければならない。

第５条　疑義の解釈

１）本特記仕様書および設計図書に疑義を生じた場合は、監督員と協議の上、監督員の解釈によるものとする。

２）仕様書、設計図書に明示されていない事項があるとき、また内容に相互しない事項があるときは、双方協議のうえ定めるものとする。

第６条　提出書類

本工事において、受注者は次の書類を提出すること。なお、これらに要する費用はすべて受注者の負担とする。また、提出部数は別途指示する。

１）工事着手届

２）工事工程表

３）現場代理人届および経歴書

４）工事施工計画書

５）完成図書

６）承諾図

契約後、すみやかに担当技術者を派遣し、本仕様書及び設計図書に基づき、設計製作に詳細なる打合せを行い、監督員の承諾を得ること。なお、打合せの結果によっては特記仕様書および設計図書類の変更を行うことがある。この場合、契約金額の変更は原則として行わない。

７）完成図

工事完了後、完成図面を提出すること。

８）その他

①　設備維持管理に必要な運転操作説明図書

②　各種機器試験成績表

③　各種機器取扱説明書

④　その他監督員が指示する図書および書類

第７条　工事立会

水中、地下等に埋設する工事、又は竣工後明視できなくなる箇所を施工するときは、監督員の立会を得て施工するものとする。

第８条　相互の協調

１）受注者は、同一現場内で他の受注者と同時に施工することになるため、関係業者協議のうえ綿密な工程を計画し、監督員の承諾を受けたのち相互の工程に留意し、お互いに協調して円滑な施工を計らなければならない。

２）場内の安全対策、衛生対策、環境対策について協力しなければならない。

３）場外における交通安全対策、住民対策について協力しなければならない。

４）水害防止、濁水防止対策について協力しなければならない。

５）その他必要となるものについて協力しなければならない。

第９条　現場管理

１）受注者は、工事現場内の労働安全に留意し、風紀及び衛生の取締り並びに火災、

盗難、その他事故防止について責任を持って十分な注意を払わなければならない。

また､工事就業者全員については付近住民の感情を刺激することのないように監督・指導しなければならない。

2）受注者は、工事施工の際、発注者または第三者に損害を与えた場合、受注者の負担で速やかにその責をおわなければならない。

ただし、天災その他通常受注者のみの責と考えられない場合は、別途協議するものとする。

第 10 条　特許権等の使用

本工事の施工にあたり、特許権その他第三者の権利の対象となっている機器等を使用するときは、受注者はその使用に関する一切の責任を負わなければならない。

第 11 条　費用の負担

材料および工事の検査並びに、施工に伴う調査、試験諸手続等に必要な費用は、受注者の負担とする。

第 12 条　工事着手

受注者は、契約締結後速やかに本特記仕様書および添付図書類に基づき、工程表および施工計画書並びに承諾図書類を作成し、承諾を得ること。

この承諾を得ずに施工してはならない。

なお、本工事に使用する機器類について受注者固有の設計による製品で本特記仕様書および添付図書類と異なる場合は、事前に理由を申し出て、承認を得なければならない。

第 13 条　諸法規の遵守

受注者は工事の施工にあたって次の関係諸法規および規格を遵守し、工事の円滑なる進歩を図らなければならない。

1）電気事業法
2）電力用品取締法
3）建築基準法
4）消防法
5）公衆電気通信法
6）水道施設設計指針・解説
7）水道維持管理指針
8）電力会社供給約款
9）日本工業規格（ＪＩＳ）

１０）日本水道協会規格（ＪＷＷＡ）
１１）電気規格調査会標準規格（ＪＥＣ）
１２）日本電機工業会標準規格（ＪＥＭ）
１３）日本電線工業会標準斑格（ＪＣＳ）
１４）日本照明器具工業会規格（ＪＩＬ）
１５）電気設備技術基準（経済産業省令）
１６）内線規定及び配電規定（電気技術基準調査委員会編）
１７）ボイラー及び圧力容器安全規則
１８）労働基準法
１９）労働安全衛生規則
２０）その他関連法規・条例および規格

第 14 条　試運転調整

各機器の現場据付完了後、受注者は各機器について専門の熟練した技術者を派遣し、機器の調整試運転を行うこと。

第 15 条　試験および検査

１）受注者は、この工事に関して関係監督官庁が行う検査および諸試験を受け、これに合格しなければならない。なお、これらの成績表は受注者にて作成し監督員に提出すること。
２）受注者は、次のいずれかに該当するときは、直ちに書面により通知し発注者の検査を受けなければならない。
①　工事が完成した場合（竣工検査）
②　工事の施工中でなければ、その検査が不可能な場合、または著しく困難な場合（中間検査・確認検査）
③　工事の手直しが完了した場合（手直し検査）
④　その他必要がある場合
３）検査（中間検査・工場検査・竣工検査）試験の詳細については、監督員との打合せによる。
４）検査の際、分解検査等を受けた場合は、受注者の負担で遅滞なく復旧しなければならない。
５）検査および試験に必要な一切の費用は、受注者の負担とする。

第 16 条　後片付け

工事完了後の後片付け、清掃、仮設物の撤去等は、監督員の指示により速やかに行い、工事期間内に完了することを原則とする。

第 17 条　保証期間

本工事の保証期間は、受渡し完了後 2 年間とする。

万一、保証期間中に受注者の責任に帰すべき原因による故障等が発生した場合は、受注者の責任において発注者が指定する期間内に修理、改造または新品と交換を行うものとする。

なお、運転担当者に設備の運転操作、維持管理その他について十分なる指導を行うものとする。詳細については別途協議する。

第 18 条　衛生管理

受注者は、本工事就業者全員の作業員名簿を提出するとともに、就業者全員に対して、水道法第 21 条・水道法施行規則第 16 条に規定する法定伝染病の検診を実施しその結果を発注者に報告しなければならない。

受注者は、工事就業者全員に対し不衛生な行為がないように徹底して監督･指導するとともに、必要に応じ衛生的な仮設物を設置しその管理を行わなくてはならない。

第２節　材　　料

第１条　適　　用

１）本工事に使用する材料は、設計図書及び仕様書に明示した場合を除き、第１節１２条の規格又はこれに準ずる規格に適合するものとし、監督員の承諾を受けなければならない。

２）設計図書に品質、性能などが定められている機器および材料は、品質および性能等を証明する資料を監督員に提出する。ただし、JIS マーク表示等のあるもの、また事前に監督員の承諾を得たものは除く。

第３節　仮設工事

第１条　仮　設　物

１）受注者詰所、工作小屋、材料置場、便所等の仮設物を設ける場合は、その設置位置、その他について監督員の承諾を受けなければならない。

２）火気を使用する場合、引火性材料の貯蔵所などは、関連法規の定めるところにより適当な施設を設けなければならない。

第２条　工事用水、電力等

工事用の水、電力等に必要な仮設物は受注者がその手続きを行い、設置、撤去までを行うものとする。

なお、これらの使用料金は全て受注者の負担とする。

第４節　現場工事

第１条　工　　事

１）工事は、設計図書及び仕様書により優秀な技術によって、責任施工しなければならない。

　また、仕様書等に明記がない場合でも、本工事の目的並びに工事施工上、当然必要なものはすべてこれを備えたものでなければならない。

２）工事は仕様書、契約書及び設計図書によるほか、監督員の指示に従い施工しなければならない。

３）本工事においては、原則として夜間、土曜日、日曜日、祝日の作業は行わないものとする。受注者は工事の都合上、残業、夜間作業又は休日作業を行うときは、あらかじめ監督員の承諾を受けなければならない。

　また、発注者が期間中に施工完了の見込みがないと認めたとき並びに応急を要する事故発生の場合には、残業、夜間作業又は休日作業を命ずることがある。

第２条　工程会議

　受注者は、監督員が指示する工程会議及び会議に出席し、会議終了後は速やかに議事録を監督員に提出しなければならない。

　また、同一現場内の別途工事業者と工程、施工打合せを十分に行うこと。

第３条　防災安全

１）受注者は、豪雨、出水及びその他天災に対しては平素から防災に十分な注意を払い、万全の措置を講じられるよう準備しておかねばならない。

２）受注者は工事現場が危険な場合、又は一般道路等で作業を行う場合は、関係官庁への届出と周辺住民への周知徹底を行い、標示、信号、適当な柵を設ける等通行者の安全を確保しなければならない。

第４条　交通対策

　受注者は施工にあたり資材や土砂の搬入･搬出経路に国道、県道、市道を利用することとなるが、これらには通学用通路も含まれる場合もあるので交通に対する保安対策には特に留意し、工事場所への車両出入口や危険な交差点等には誘導員を置くとともに、特に沿線の通学生徒及び幼児に対しては必要に応じ交通整理員を置くなどするものとし、さらに公道を損傷したときは速やかに補修に努めるなどして通過交通及び沿線住民に危険がないように万全を期さなければならない。

　また、片山ポンプ場への工事車両の通行については、原則としてポンプ場北側直近の国道 53 号交差点を通る経路に限るものとする。

第２章　電動弁仕様

第１節　機器仕様

（１）仕　　様

1)	形　　式	電動式バタフライ弁
2)	口　　径	φ100 mm
3)	面 間 寸 法	250 mm
4)	フランジ規格	7.5K　R･F
5)	許容キャビテーション係数	1.0 以下（弁開度 10%時）
6)	台　　数	１ 台

（２）構　　造

・本電動弁は、弁箱、弁体、弁棒及び減速機等により構成され、最高使用圧力に十分耐える構造とし、基本構造は　JWWA B 138 水道用バタフライ弁に準拠する。

・弁体は、キャビテーションの成長を抑え広範囲の制御特性を有する構造とする。

・弁箱は、最高使用圧力時に完全止水のできる構造とする。

（３）材　　質

金属材料は日本工業規格に該当する材料を使用すること。

1) 弁箱	：	FCD450-10
2) 弁体	：	SCS13
3) 弁棒	：	SUS403
4) 弁箱弁座	：	合成ゴム（全面ゴムライニング）

ただし、甲が同等以上と認めた場合は使用承諾願いへの承諾をもって使用することができる。

第２節　電気仕様

(1) 電動操作機機構

弁の全開、全閉位置で動作するリミットスイッチ、弁の開閉動作中に発生する異常なトルクにより動作するトルクスイッチ、手動切替時に動作するインターロックスイッチ、減速装置、電動機等で構成し、すべて屋外防滴ケースに納められたものとする。

(2) 開度発信器は変換器を内蔵し、DC4～20mA で出力可能なものとする。

(3) 電動機出力	：	0.1kW
電動機電源	：	AC200V
操作電源	：	AC200V
(4) 開閉時間	：	約３分（参考）

詳細な電気仕様については、別途発注の「河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場電気計装設備工事」受注者との協議により定める。

第３節　塗装

本体内面　：　無塗装（弁箱内面全面ゴムライニング、弁体ステンレス鋳物）

本体外面　：　エポキシ樹脂塗装

ただし、甲が同等以上と認めた場合は使用承諾願いへの承諾をもって使用することができる。

第４節　検査

検査については、本仕様書及び使用承諾願いに基づいて製作工場にて行なうものとする。

また、日本水道協会検査受検のこと。

第３章　施　　工

第１節　一般事項

本工事は､下記の範囲一切を施工するもので､受注者は設計図書を参照するとともに監督員と打合せを行い、その使用目的に適した十分な機能を有する優秀な機器を設計製作の上、据付・配管工事を行うものとする。

本工事の据付工事工程などをあらかじめ監督職員と打合せ、その指示により行わなければならない。

第２節　施　　工

１）配管の布設にあたっては、過大の力が配管、機器、弁などに加わらないように施工する。

２）接続又は近接する機器等の運転によって、配管に共振、緩み、漏れなどの異常が発生しないことを確認する。

３）配管の接合にあたっては、管内に切りくず、土砂、ゴミなどがないことを確認し必要により清掃を行う。

４）配管完了後に監督職員の指示により充排水作業を行う。

５）機器の据付けにあたっては、完全に水平垂直に芯出し調整を行う。

鳥取市水道局発行
水道工事標準仕様書
(平成２３年３月３１日改定)
により施工する。

現　場　説　明　書

平成２７年７月９日改正

１　仕様書の適用について

この契約において適用する仕様書は、特に定めのない限り「鳥取市水道局水道工事標準仕様書」とする。

２　法令等の遵守について

(1)　建設業法、労働安全衛生法等の各種関連法令及び鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針（平成27年3月19日付第201400194303号県土整備部長通知。以下「適正化指針」という。）を遵守し、法令及び適正化指針に抵触する行為は行わないこと。

(2)　建設業からの暴力団排除の徹底について

1)　鳥取市暴力団排除条例（平成23年3月鳥取市条例第1号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行なわないこと。

2)　工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

3)　この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

(3)　工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

３　下請関係の適正化について

(1)　この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は適正化指針（第9条第1項を除く。）及び「建設工事における適正な価格による下請契約に関する要綱」（平成26年10月3日付第201400102617号県土整備部長通知）の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、適正な価格による下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立及び下請における雇用管理等の指導等に努めること。

(2)　鳥取市建設工事低入札価格調査制度実施要領（平成11年9月14日制定）第4条に規定する調査基準価格を下回る金額でその工事を落札した受注者（共同企業体として落札した場合にあっては、そのすべての構成員とする。）は、工事の一部を第三者に請け負わせたときは、その下請契約一件ごとに別に定めるところにより建設工事執行状況報告書を作成し、当該工事の完成検査結果の通知日から20日以内に発注者へ提出しなければならない。

(3)　工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、県内業者（県内に本店を有する者をいう。以下同じ。）と契約すること。ただし、技術的に対応できる県内業者がない業務を委託する場合、又は県内業者で対応できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、監督員に事前協議して県外業者と契約することができる。

(4)　この契約に係る工事の適正な施工体制を確保するため、受注者は、「鳥取県建設工事施工体制調査・指導要領」（平成16年３月11日付管第2313号鳥取県県土整備部長通知）に基づく調査その他市の行う調査に協力すること。

また、受注者は下請業者を使用する場合に当っては、当該下請業者に対し当該調査に協力するよう指導すること。

(5)　建設業退職金共済制度への加入等

1)　建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請を含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

2)　建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

3)　受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

４　労働安全衛生の確保について

労働災害のリスク低減のため、「建設工事における労働災害防止のためのリスクアセスメント等について」（平成23年９月30日付第201100099979号県土整備部長通知）に基づくリスクアセスメント等に積極的に取り組むこと。

５　建設資機材の使用について

(1)　工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」（平成22年１月20日付第200900157785号県土整備部長通知）に基づくリサイクル製品がある場合は、原則これを使用すること。

(2)　リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

1)　県内産の資材がある場合は、県内産の資材を使用すること。

2)　県外産の資材を使用する場合は、県内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「県内販売業者」という。）から購入した資材を使用すること。ただし、当該資材について県内販売業者がない場合は、この限りでない。

(3)　建設機械の使用について

1)　施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

2)　工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）又は建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等（以下「不正軽油」という。）を使用しないこと。

また、県が使用燃料の抜き取り検査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うとともに、不正軽油の使用が発見された場合には、当該燃料納入業者を排除するなどの是正措置を講じること。

(4)　ダンプトラック等による運搬について

1)　「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

2)　積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにするなど違法運行を行わせないようにすること。違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

６　リサイクルの促進について

建設リサイクル法、「鳥取県県土整備部公共工事建設副産物活用実施要領」（平成22年９月13日付第201000087971号県土整備部長通知）に基づき建設副産物のリサイクル等に努めること。

７　消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

現　場　説　明　書

特記事項１

平成27年10月20日改正

工程

①　他工事等との調整）　本工事　については、　河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場機械設備工事、河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場電気計装設備工事と関連するので相互の連絡調整を密にすること。

~~②（部分完成、着工保留）~~　＿＿＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿＿まで＿＿＿＿＿＿（すること、しないこと）。

③（施工時間）　本工事の施工時間帯は、昼間施工（８：３０～１７：００）を見込んでいる。
＿＿＿＿＿＿＿＿の施工時間は、＿＿：＿＿～＿＿：＿＿とする。

~~④（施工時期選択制度）~~　この工事には、施工時期選択制度を適用する。工事完成期限は
＿＿年＿＿月＿＿日までとし、実工事期間は＿＿＿日間とする。
なお、契約締結日から着工日前日までの間に資材の搬入、仮設物の設置等の工事の着手を行ってはならない。

~~⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）~~　この工事の工期には、鋼材調達期間として、　ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

用地関係

~~①（用地、物件等未処理）~~本工事区間の＿＿＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。
なお、＿＿＿＿頃＿＿＿＿＿＿の予定である。

支障物件

①（埋設物等の事前調査）工事に係る地下埋設物等の事前調査については、
〔~~未調査~~・調査済み〕である。

~~②（支障物件）~~　＿＿＿＿＿＿の施工に当って、＿＿＿＿＿＿が支障となっているが、＿＿＿までに移設が完了する見込である。
予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。

~~③（立木の置き場所）~~　工事用地内の立木は伐採し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に置くこと。

公害対策

~~①（低騒音型・低振動型建設機械）~~
本工事のうち施工箇所：　　については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年４月９日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。
該当工種：＿＿＿＿＿＿＿＿、施工機械：＿＿＿＿＿＿＿＿

安全対策

①（交通安全施設等）　一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。

交通誘導員A　＿＿＿人（交替要員〔有り・無し〕）＿＿＿日　合計＿＿＿人
交通誘導員B　1～2 人（交替要員〔有り・~~無し~~〕）　25 日　合計　48 人

警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。
交通誘導員Aとは、警備業法第２条第４項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。
なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第１４条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置していることとみなす。

現　場　説　明　書

特記事項２

排水・濁水処理

①（濁水処理）　工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。
なお、これにより難い場合は別途協議すること。

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

~~①（他工事等流用）~~　建設発生土は＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の　＿＿＿＿＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。

~~②（建設技術センター）~~　建設発生土は＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として１㎥当り＿＿円をセンターに支払うこと。
センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状　（記載例）砂質土、コーン指数　300kN/m2以上　）

③　（民間残土受入地）　建設発生土は 鳥取(市)・町・村河原町曳田地内の Natural Material に運搬（片道運搬距離 3.2, 3.3 km）するものとする。なお、処理費として１㎥当り1,262円(税抜)を受入先に支払うこと。民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m2以上）

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

④（分別解体等）　コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。
コンクリート塊　１㎥当り＿＿＿＿＿円
アスファルト塊　１㎥当り＿＿＿＿＿円
建設発生木材　　１㎥当り＿＿＿＿＿円

⑤（再資源化施設へ搬出）コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。
再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。
なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）
コンクリート塊　＿＿＿市・町・村＿＿＿地内の＿＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用　１ｔ当り＿＿＿＿円
アスファルト塊　八頭　市・(町)・村　郡家　地内の　こおげ建設
（運搬距離　6.8 km）、費用　１ｔ当り　2,000　円(税抜)
建設発生木材　＿＿＿市・町・村＿＿＿地内の＿＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用　１ｔ当り＿＿＿＿円
その他（　　）＿＿＿市・町・村＿＿＿地内の＿＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用　１ｔ当り＿＿＿＿円

（受入れ時間帯）　８時～１７時（平日）

（受入れ条件）　ア　路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。
イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500㎜以下であること。
ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径＿＿＿＿　cm以下、長さ＿＿＿＿m以下であること。
エ　２次公害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

~~⑥（他工事等流用）~~　〔Co塊・＿＿＿＿＿〕は、＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。

~~⑦（最終処理等）~~　＿＿＿＿については、＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離＿＿＿km）を想定し、その費用として１ｔ当り＿＿＿＿円を見込んでいる。
これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

~~⑧（産業廃棄物の処理に係る税）~~　産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、＿＿＿＿＿円見込んでいる。

~~⑨（木材市場等へ売却）~~　建設発生木材は、＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿への搬出（片道運搬距離＿＿＿km）を想定し、＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の木材市場等へ売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議をすること。

現　場　説　明　書

特記事項３

建設副産物の処理

⑩（~~建設発生木材の出来形数量~~）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工　種	項　目	規　格	摘　要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な１断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低２箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。 また、10台に１台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、２台以上写真管理を行うこと。	
建設発生木材 搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑪（マニフェスト）　産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要。

建設副産物の使用

①（~~建設発生土の使用~~）＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。

②（再生資材の使用）

1)Co雑割材は、＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。

2)ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ切削殻等は、＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。

3)・再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ〔規格：　RC-40　〕は、使用箇所：基礎砕石工,路盤工　に使用する。

・再生ｺﾝｸﾘｰﾄ砂〔規格：RS-＿＿＿＿〕は、使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。

4)再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物〔規格：＿＿＿＿〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。

5)その他再生資材〔資材名：＿＿＿＿〕〔規格：＿＿＿＿〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。

工事用道路

①　~~農地の一時転用について~~）

本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する場合は、農地の一時転用が必要である。そのため、受注者は、「公共事業の施行に伴う附帯施設の設置に係る一時転用の取扱いについて」（平成24年12月5日付農業委員会事務局長通知）に基づき、着手前に本工事が公共事業であることを証明された報告書を所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。また、別工事で設置済みの仮設道路等を継続して使用する場合も農業委員会へ報告すること。

仮設備

その他

①（~~自社施工~~）　本工事においては、＿＿＿＿＿＿＿＿工（＿＿＿＿＿＿＿＿工を除く）のうち少なくとも＿＿＿＿千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領（平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知）に定めるところにより自社施工しなければならない。

②　工事名称）　工事標示板に記載する名称は、河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場場内配管布設その２工事　とする。なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。

③（~~監督体制~~）　本工事の監督体制は（一般・重点）監督とする。

重点監督の工種は＿＿＿＿＿＿＿＿とし、その他の工種は一般監督とする。

なお、鳥取市水道局建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

④（~~三者協議~~）　本工事は、＿＿＿＿＿＿工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

現　場　説　明　書

特記事項４

その他

~~⑤（技能士常駐）~~　本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

1)技能士種別：技能士、該当工種：工、仕様書根拠：１－　頁
2)技能士種別：技能士、該当工種：工、仕様書根拠：１－　頁
3)技能士種別：技能士、該当工種：工、仕様書根拠：１－　頁

⑥（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月７日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

~~⑦（実施単価全面改訂時の適用単価）~~

実施単価全面改定後指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。

※ 明示する項目を＿＿部分に記入または追記し、不要部分はーで削除して使用すること。

別表３　　（Ａ４）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造（解体工事のみ）		☐ 鉄筋コンクリート造　☐ その他（　　）
工事の種類		☑ 新築工事　☐ 維持・修繕工事　☐ 解体工事 ☐ 電気　☑ 水道　☐ ガス　☐ 下水道　☐ 鉄道　☐ 電話 ☐ その他（　　）
使用する特定建設資材の種類（新築･維持･修繕工事のみ）		☑ コンクリート　☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☑ アスファルト・コンクリート　☐ 木材
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数　＿＿＿＿年 その他（　　）
	周辺状況	周辺にある施設　☑ 住宅　☐ 商業施設　☐ 学校 ☐ 病院　☐ その他（　　） 敷地境界との最短距離　約＿＿＿＿m その他（　　）

工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所　☑ 十分　☐ 不十分 その他（　　）	道路占用許可の申請。 道路使用許可の申請。
	搬出経路	障害物　☐ 有（　　）　☐ 無 前面道路の幅員　約＿＿＿＿m 通学路　☐ 有　☐ 無 その他（　　）	工事看板設置ヶ所の確認。 交通整理員の配置位置の確認。
	特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ）	☐ 有 （　　） ☐ 無	
	その他		

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（解体工事のみ）
	①仮設	仮設工事　☐ 有　☑ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事　☑ 有　☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事　☐ 有　☑ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事　☐ 有　☑ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事　☐ 有　☑ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他（　　）	その他の工事　☐ 有　☑ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

工事の工程の順序（解体工事のみ）	☐　上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他（　　） その他の場合の理由（　　）
工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）	トン

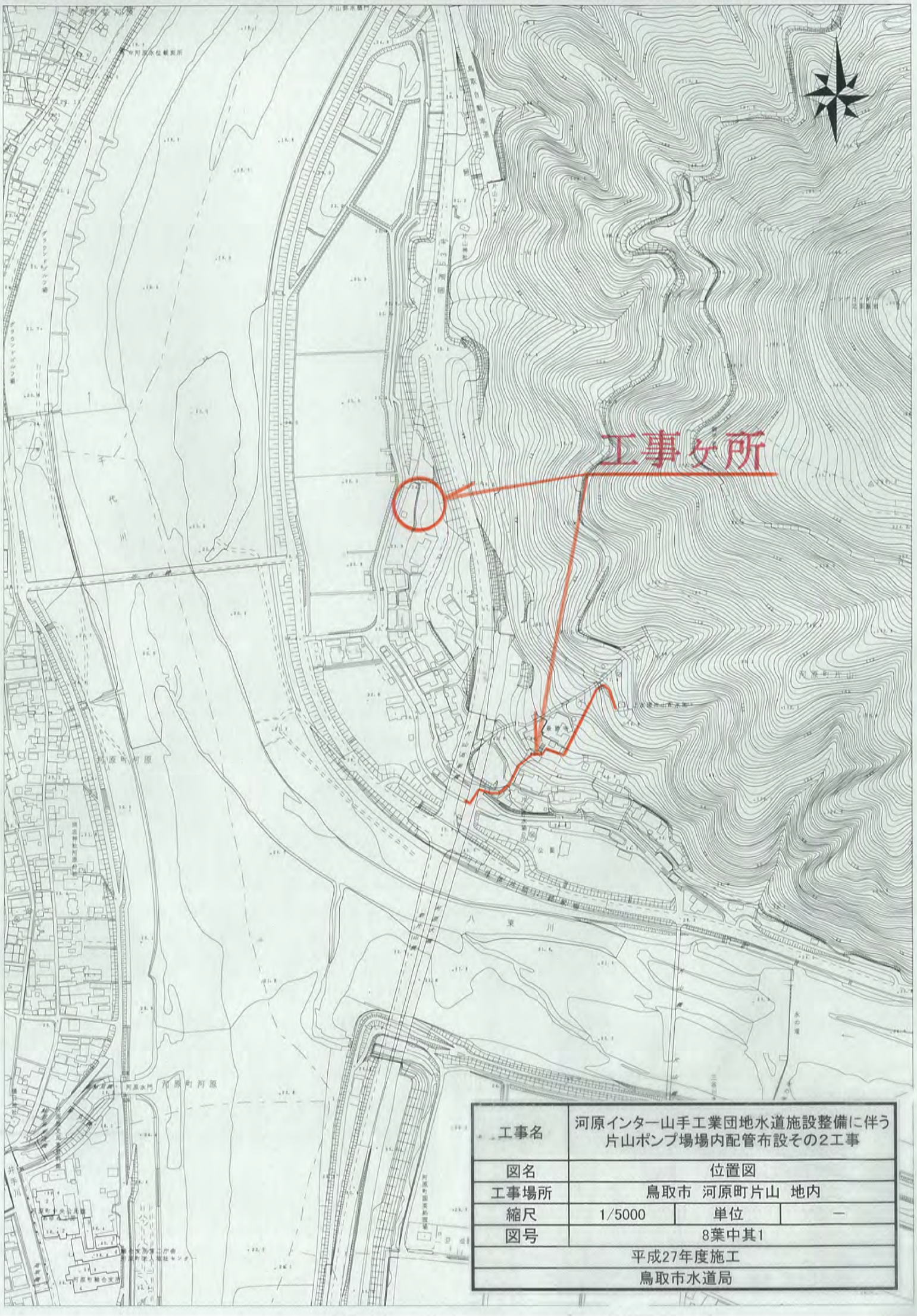
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ）	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分（注）
		☑ コンクリート塊	61　トン	☐ ①　☑ ②　☐ ③　☐ ④ ☐ ⑤　☐ ⑥
		☑ ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	19　トン	☐ ①　☑ ②　☐ ③　☐ ④ ☐ ⑤　☐ ⑥
		☐ 建設発生木材	トン	☐ ①　☐ ②　☐ ③　☐ ④ ☐ ⑤　☐ ⑥
	（注）　①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他			

備考

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

【図面目次】

図号	図名
8葉中其1	位置図
8葉中其2	平面図
8葉中其3	場内配管縦断図
8葉中其4	土工　平面図・断面図
8葉中其5	防護施設構造図
8葉中其6	排水管一般図
8葉中其7	場外　平面図・断面図・復旧構成図
8葉中其8	場外　配管図



工事名	河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場場内配管布設その2工事		
図名	位置図		
工事場所	鳥取市　河原町片山　地内		
縮尺	1/5000	単位	—
図号	8葉中其1		
平成27年度施工			
鳥取市水道局			

工事名：河原インター山手工業団地水道施設整備に伴う片山ポンプ場場内配管布設その2工事

材料					単価
［名　称］	［種　別］	［規　格］	［単 位］	備考	
フランジアダプター	FCD	150A×7.5k×200L	本		148,680
片F90°曲管	NCP	150A×370L(7.5K)×329L(溶接)	本		104,760
直管付90°曲管	NCP	150A×1054L(溶接)×480L(GX挿口)	本		245,700
直管付90°曲管	NCP	150A×1357L(溶接)×700L(GX挿口)	本		295,290
T字管付ヘッダー管	NCP	150A×486L(溶接)×700L(GX挿口)	本		230,400
90°曲管	NCP	150A×357L(溶接)×357L(溶接)	本		117,360
短管	NCP	150A×314L(溶接)	本		53,640
直管付90°曲管	NCP	150A×1404L(溶接)×329L(溶接)	本		126,000
ベローズ形伸縮可とう管	SUS	150A×偏芯200mm×900L(B.B)	基		737,800
溶接部保護カバー	NCP	150A用	個		7,290
伸縮可とう管	DIP.GX	U×S,h=300	本		683,230
フランジ短管	HPPE	φ50 (スピゴット),SUSフランジ10k	個		9,860
ルーズF短管	NCP	100A×500L	本		73,440
両F短管	NCP	100A×300L	本		41,490
流入調整弁		100A　電動式バタフライ弁	台		1,755,200
フェンス		H=1,800 曲忍付	m		11,830
門扉W=1.0m		H=1,800 直忍付	基		76,230
門扉W=5.0m		H=1,800 直忍付	基		540,460
コンクリートブロック(フェンス用)		250×250×450	ヶ		1,360
ポリエチレンフォーム保温筒		φ50　t=20mm	m		物価資料
ポリエチレンフォーム保温筒		φ150　t=20mm	m		物価資料
粘着テープ		t=0.2mm	m		物価資料
ポリエチレンフィルム		幅100mm　t=0.05mm	m		物価資料
ポリエチレンフィルム		幅150mm　t=0.05mm	m		物価資料
ステンレス鋼鈑		SUS304 t=0.3mm	㎡		物価資料
硬質塩化ビニル管設置工		φ150	m	材工共	物価資料
塩化ビニル製ます設置工		φ200	箇所	材工共	物価資料
保護鋼管	SGP	100A,白ねじ無し管	本		物価資料